

鎌倉市青少年指導員連絡協議会

令和7年度

活動の記録

令和7年4月～令和8年3月



令和7年度 『活動の記録』 発行にあたり

鎌倉市青少年指導員連絡協議会

会 長 下 山 浩 子

青少年指導員は、平成22年10月22日神奈川県条例第66号により、青少年保護育成条例第43条2項の規定に基づいて、青少年指導員の委嘱や活動の根拠が位置付けられました。

「市町村や県と連携して、地域の特性に応じ青少年の健全育成に資する取り組みを行うものとする」と神奈川県青少年保護育成条例に記載されております。

私たちは子どもたちに、多くの体験活動を通して知る楽しさを感じてもらい、これから生きる力に繋げてもらいたいと願って活動しております。楽しい活動を数多く体験する中で、子どもたちの間で対話や信頼が生まれて育って行きます。さらに、青少年指導員連絡協議会主催の子どもキャンプでは、子どもたちがより身近な存在になり、地域に帰ったあとも人と人がつながり、新たな居場所を創出しています。そんな関係性を、今後も本市の事務局や他の団体と連携して創出していきます。

このような活動を継続していくうえで、互いをリスペクトしながら関係性を深めていくことが大切になります。社会が大きく変化している中、互いに補い合い、時代の変化にも応えながら、昔の遊びや行事、歴史的文化や自然等、大人が伝えたいことを共に考え、知恵を出し合って伝えていかなくてはならないと思います。その為に、私たちも日頃から研修して行かなくてはと思います。

日々変化する世の中に対応していくことは大変です。しかし、子どもたちを地域の皆様と共に大切に育てる事は、私たち大人の責任だと思っています。

これからもずっと、青少年指導員は子どもたちに寄り添い活動をしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

鎌倉市青少年指導員について

1 青少年指導員とは

青少年の健全な育成を目的とし、青少年や育成団体の活動を推進する人のことで、自治・町内会長の推薦を得て、鎌倉市と神奈川県知事から委嘱されています。定員は75名で、5地区（鎌倉・腰越・深沢・大船・玉縄）に分かれて活動しています。

青少年指導員は概ね次のような方をお願いしています。

- (1) ボランティア活動、青少年指導に深く関心を有する方
- (2) 青少年または団体の指導に経験や実績のある方
- (3) 健康でかつ職務を遂行できる方
- (4) 青少年、地域、自治町内会等との連携ができ、青少年指導員協議会活動へのご協力をいただける方

2 青少年指導員の主な活動

- (1) 青少年団体の活動を指導・支援し、地域社会の活動に参加する機会づくりを行う。
 - ・青少年団体の活動を援助し、連絡協調を図る。
- (2) 文化・レクリエーション活動の推進
 - ・ハイキング、キャンプ、ゲームなどの指導と普及を行う。
- (3) 地域活動の推進
 - ・各地域の子ども会やその他関係団体との連絡協調を図り、地域活動を行う。
- (4) 地域環境の整備及び浄化活動
 - ・有害図書広告などの排除、街頭キャンペーン、街頭指導などに参加する。
- (5) 青少年に関する相談及び指導
 - ・地域での相談窓口になり、内容によっては相談機関へ紹介するなど、問題の解決に努める。

3 その他

(1) 任期

青少年指導員の任期は、2年間となります。

(2) 報償

鎌倉市青少年指導員要綱の定めるところにより、年額30,000円を上限額とし、活動1回につき1,000円の活動費が支払われます。

(3) 活動の頻度

各地区で、月1回の地区会を開催しています。その他には、地区ごとの企画行事の打合せや、広報紙の製作、地域行事（お祭りやイベントなど）へのご参加・ご協力もお願いいたします。

地区協議会 活動報告

鎌倉地区

腰越地区

深沢地区

大船地区

玉縄地区

令和 7 年度 鎌倉地区活動報告

【鎌倉地区青少年指導員メンバー】

(地区長) 岩田薫 (副地区長・会計・ギャラリー実行委員) 岡田英子
(書記・おもちゃ箱委員会委員長) 蔀正子 (青少年指導員連絡協議会書記) 稲田富之
(広報委員) 中村光夫 (広報委員) 横塚尚志 (おもちゃ箱委員) 石見洋子
(キャンプ実行委員) 二階堂加奈子・武井正城・山田純一・大窪瑞磨呂・末永憲吾
(ギャラリー実行委員) 益田朋子 (たこあげ実行委員) 川村一郎 田邊美香

【地区目標】

青少年と寄り添い相手の立場になって行動する

【活動方針】

子どもの貧困問題や引きこもり等色々な問題に向き合い若者の居場所作りに協力する。

【活動内容】

○地区会

月 1 回第二水曜日 9:30~12:00 鎌倉青少年会館
協議報告 協議事項の検討 地区行事の計画等

○学校訪問

令和 7 年 6 月 30 日から 7 月 4 日まで小学校(稲村、御成、第一、第二)・中学校(御成、第一、第二)地域の学校がかかえる様々な課題がわかり校長先生と意見交換できました。

○連絡協議会行事

凧あげ大会、子どもキャンプ、研修会(救急救命、横三、教育長を囲んで)

○放課後かまくらっ子 ディスクゴルフなど

【地区行事企画】

☆令和 7 年 9 月 13 日(土)「マイクロプラスチックを探そう」残念ながら応募者なし。

☆令和 7 年 11 月 23 日(日)「クリスマスカードを作ろう」残念ながら悪天候のため中止!

☆令和 8 年 2 月 22 日(日)街歩き「滑川の源流をさがせ!」6 人の応募がありました。

令和7年度 腰越地区活動報告



【腰越地区青少年指導員メンバー】

石塚郷彦	(地区長)
下山浩子	(連絡協議会会長)
山田育子	(連絡協議会会計)
志賀志津代	(ギャラリー実行委員)
坂元玲士	(子どもキャンプ実行委員長)
松本充司	(副地区長・たこあげ実行委員)
武井正信	(広報委員長)
垣生有俊	(子どもキャンプ実行委員)
劔悠子	(おもちゃ箱委員)
去渡正勝	(子どもキャンプ実行委員)

【地区目標】

生まれ育った地域を大切に、地域の人と自然とのふれあいを通して成長する。

【活動方針】

- (1) 海と緑地、豊かな自然に恵まれた地元腰越を子どもたちに体感させる。
- (2) 行事に積極的に参加し、地域の人と子どもたちと一緒に活動を楽しむ。
- (3) 地域の人と子どもたちとの交流の場を作り、学びの機会を持たせる。

【活動内容】

- (1) 「地区会」腰越学習センターで毎月開催、役員会報告、活動の企画検討反省など話し合い。
1月度地区会で、翌年度のたこあげ大会で使う和風の作成をそろって行った。
- (2) 「学校挨拶」6月腰越小学校・七里ガ浜小学校・西鎌倉小学校・腰越中学校・手広中学校を訪問し青指メンバー挨拶、活動報告、活動計画、学校の現状を聞くなど情報交換。
- (3) 「子ども会・自治会・町内会・地区社会福祉協議会や教育懇話会など地域団体との連携活動」
関係会議出席し青指活動報告、青指活動への協力依頼、情報交換等。
- (4) 地域学校協働活動、西鎌倉小学校、手広中学校コミュニティースクール運営参加。
- (5) 6月に、地域の人たちの手で護られた貴重な自然、広町緑地でホタル観賞会を行った。
多くのゲンジホタルが飛び交い、地域に残る自然を体感し、参加者の歓声があがった。
- (6) 真夏の日差しの下、8月には江の島ヨットハーバーから帆船「やまゆり号」に乗り、海から私たちの住む街を見ながら、快適なヨットセーリング体験を行った。
- (7) 11月に、今年も広町緑地広場でクリスマスリースやバルーンアート作りと今回はピクニックボールも行い、たくさんの親子の参加者に喜ばれました。
- (8) 「学校関係活動」卒業式や校外学習等学校関係諸行事へ参加、協力。
各小学校区の放課後かまくらっ子では、バルーンアートやディスクゴルフを実施。
- (9) 地区での活動の他に、市連絡協議会全体の行事である「たこあげ大会」「子どもキャンプ」に多くの地区青少年指導員が参加し、積極的に活動。
- (10) 「普通救命講習1」「教育長基調講演」等の行事にも多くの地区指導員が参加しました。

令和7年度 深沢地区活動報告

【深沢地区青少年指導員メンバー】



原山 博（地区長・広報）
小島 信行（協議会副会長）
久保 展子（副地区長・おもちゃ箱）
秋元 正美（たこあげ、ギャラリー）
宮本 泰三（おもちゃ箱）

【地区目標】

「子どもたちを見守り支え育もう！ つなげよう地域の輪」

【活動方針】

- (1) 地域のつながりを大切にし、町内会、自治会、子供会、学校との連携を図る
- (2) 子どもたちの安全を見守り、環境作りの支援をする
- (3) 地域団体および青少年団体と連携協働し、青少年との交流の場を広げる
- (4) 研修・講演会に参加し、研鑽を積む
- (5) 県・市・他団体の関係行事に参加し協働する

令和7年度 大船地区活動報告

【大船地区青少年指導員メンバー】



(地区長) 三浦 雅幸 (副地区長) 神田 醇一 (協議会副会長) 石川 敦子
(会計) 飯嶋 晴美 (広報委員) 小野田 康成・照井 賢人 (おもちゃ箱委員) 千場 佳恵
(子どもキャンプ委員) 粕田 淳子・森田 文子・田中 江里
(こどもたこ揚げ委員・ギャラリー委員) 三谷 尚弘・井筒 智之
(ミステリーツアー) 中原 健次・大塚 真理子

【地区目標】

子供と共に楽しみ体験・経験・学習しよう

【活動方針】

- (1) 地域とのつながりを大切に町内会、自治会、子供会、学校との連携を図る
- (2) 地域団体及び青少年団体との連携協働し交流を広げる
- (3) 子供たちが「安全に明るく」すごせる環境つくる
- (4) 県、市、他団体の関連事業に協力、参加する
- (5) 青少年指導委員としての意識、経験を高めるため研修、講演会に参加、企画する
- (6) 地域の歴史、文化、施設を広く子供たちに知ってもらうために活動する
- (7) 青少年指導委員の普及を広報することにより支援者の増強を図る

【活動内容】

- (1) 定例会 毎月1回(第2金曜日 19:00～)
- (2) 学校訪問 大船小・小坂小・今泉小・山崎小・大船中・岩瀬中 新任・年間企画の挨拶
- (3) 青少年育成懇談会代表者会議 幼稚園、小学校、中学校、スポーツ団体等各代表者と実績報告及び挨拶
- (4) 放課後かまくらっ子 大船・小坂・今泉 ディスクゴルフ・水風戦・中央公園遠足
- (5) 子どもかまくら野菜収穫体験 城廻生産者畑にて

令和 7 年度 玉縄地区活動報告

【玉縄地区青少年指導員メンバー】



白井克実（地区長・書記
・子どもキャンプ実行委員副委員長）
平野守久（連絡協議会書記）
藤澤冬子（副地区長・おもちゃ箱実行委員）
小宮敬子（会計・広報実行委員）
石井誠一（ギャラリー実行委員）
笠泰三（子どもキャンプ実行委員）
宮下治（たこあげ実行委員）

【地区目標】

未来を担う子どもたちの育成は地域の手で

【活動方針】

- (1) 地区活動の支援、および青少年達との交流を行う
- (2) 地域団体および青少年育成団体と連帯協調する
- (3) 地域共同で、子どもたちが「安全」に「明るく」、過ごせる環境づくりを行う
- (4) 県、市、他団体の関連事業に協力、参加する
- (5) 自己を高めるための「研修」や「講演会」に参加、または企画立案

【活動内容】

- (1) 「地区会」玉縄青少年会館で毎月開催、役員会報告・活動の企画検討反省など話し合い
- (2) 「学校挨拶」6月玉縄小学校・植木小学校・関谷小学校・玉縄中学校訪問し青指メンバー挨拶・活動報告・活動計画、学校の現状や要望を聞くなど情報交換をした
- (3) 「放課後かまくらっ子」への協力
関谷小学校「バルーンアート」(7月)、「ディスクゴルフ」(2月)
玉縄小学校「バルーンアート」(8月)、「ディスクゴルフ」(1月)
- (4) 玉縄地区自治町内会連合会、玉縄地区社会福祉協議会による行事へ参加協力
11月玉縄まつり「バルーンアート、スタンプラリーと表彰式」
1月玉縄地区新春のつどい
3月わくわく体験あそび場「自然創作」

委員会・実行委員会 活動報告

広 報 委 員 会

おもちゃ箱委員会

たこあげ実行委員会

ギャラリー50 実行委員会

子どもキャンプ実行委員会

令和7年度「広報委員会」活動報告

【メンバー】

委員長	武井	(腰越)
副委員長	中村	(鎌倉)
会計	小野田	(大船)
書記	小宮	(玉縄)
委員	原山	(深沢)
委員	照井	(大船)
事務局	石川	(青少年課)



【活動目的】

鎌倉市青少年指導員連絡協議会の全体活動および、地区ごとの活動に参加して取材し、活動を市民に紹介することで指導員や他の青少年育成団体との連携を深める。

【活動方針】

協議会全体としての企画・地区ごとの企画に参加・取材し、「かまくら青指」に記事として掲載、配布することで、青少年の健やかな育みに関わる指導員の活動を市民に紹介する。

【活動計画】

- 「かまくら青指」第59号発行 令和7年10月1日
- 「かまくら青指」第60号発行 令和8年3月31日

【活動内容】

「かまくら青指」第59号・第60号の記事の取材活動および編成・推敲作業

①第59号（令和7年10月1日発行）の編成の流れ

- 4月8日(火) 第1回 令和7年度の方針決め 記事担当割り振り
- 5月13日(火) 第2回 掲載記事内容・構成の検討
- 6月10日(火) 第3回 掲載記事内容・構成の検討
- 7月8日(火) 第4回 掲載記事内容・構成の検討
- 8月は委員会を開催せず、メールで最終稿の意見交換をした
- 8月12日(火) 最終稿を役員会メンバーに送信、確認依頼
- 8月20日(水) 青少年課に入稿 庁内浄書
- 9月1日(月) 印刷会社ラクスルに印刷発注
- 9月16日(火) 第5回 第59号仕分け

かまくら青指

—— 青少年指導員だより ——

題字 飯代 徳彦氏



令和7年(2025年)10月1日 第59号

発行 鎌倉市青少年指導員連絡協議会

事務局 鎌倉市こども未来部青少年課

発行責任者 下山 浩子

令和7年度鎌倉市青少年指導員連絡協議会定期総会



4月12日、令和7年度鎌倉市青少年指導員連絡協議会定期総会を開催し、青少年の健やかな育みに向けた多彩な事業計画を確認しました。広報誌の発行、研修会・講演会の開催、日頃の活動のギャラリー展示、子どもキャンプの開催、子どもたこあげ大会の開催、放課後かまくらっ子への参画、地区活動の充実など。青少年指導員は、青少年に希望が溢れ、幸福で健やかに成長できる社会の実現のため、身近な助言者として活躍いたします。

毎年恒例！たこあげ大会が開催されました

5月5日こどもの日、材木座海岸にて、鎌倉市青少年指導員連絡協議会主催の毎年恒例、「子どもたこあげ大会」が開催されました。好天に恵まれて、たくさんのカラフルな凧が空を舞い、親子で楽しむ姿が見られました。来年もみなさまの参加をお待ちしています。



＜青少年指導員とは＞ 地域のバックアップによる子どもの育成が役割です。各町内会長の推薦を得て、神奈川県知事と鎌倉市長の委嘱状を受領した人で連絡協議会が構成されています。任期は2年間です。「子どもたこあげ大会」「子どもキャンプ」等の魅力的な行事を毎年主催しています。市内5つの地区にわかれ、地区ごとの各種イベントを開催するとともに「放課後かまくらっ子」にも参加しています。

＜下記QRコード（鎌倉市公式 NOTE）に青少年指導員連絡協議会の活動について詳しく紹介されています＞



青少年指導員とは
人がまちを支えている



青少年指導員の活動を
動画で紹介



（編集後記） 子どもたちの楽しい笑顔を中心に青少年指導員の活動を知っていただくため、内容や印刷形式など改善を進めながら、これからも便りを発行して参ります。

（広報委員会） 武井 中村 小宮 小野田 原山 照井
（事務局） 鎌倉市青少年課 石川
0467-61-3886

かまくら青指

—— 青少年指導員だより ——

題字 龍代 徳彦氏

令和8年（2026年）3月31日 第60号
発行 鎌倉市青少年指導員連絡協議会
事務局 鎌倉市こどもみらい部青少年課
発行責任者 下山 浩子

毎年恒例！子どもキャンプが開催されました

10月18日・19日県立愛川ふれあいの村にて鎌倉市青少年指導員連絡協議会主催、毎年恒例の「子どもキャンプ」が開催されました。総勢59名が参加し、野外炊事、キャンプファイヤー、ディスクゴルフ等、楽しい2日間を過ごすことができました。



高橋教育長による講演



8月2日、鎌倉市教育委員会の高橋教育長による講演を開催し、中学生を取り巻く環境について伺いました。

街頭キャンペーン



11月12日、青少年育成のための街頭キャンペーンを鎌倉市役所周辺、大船モノレール駅前の交通広場で行い、市内諸団体の方々が参加されました。

＜青少年指導員とは＞ 地域のバックアップによる子どもの育成が役割です。各町内会長の推薦を得て、神奈川県知事と鎌倉市長の委嘱状を受領した人で連絡協議会が構成されています。任期は2年間です。「子どもたこあげ大会」「子どもキャンプ」等の魅力的な行事を毎年主催しています。市内5つの地区にわかれ、地区ごとの各種イベントを開催するとともに「放課後かまくらっ子」にも参加しています。

＜下記QRコード（鎌倉市公式NOTE）に青少年指導員連絡協議会の活動について詳しく紹介されています＞



青少年指導員とは
人がまちを支えている



青少年指導員の活動を
動画で紹介



（編集後記） 子どもたちの楽しい笑顔を中心に青少年指導員の活動を知っていただくため、内容や印刷形式など改善を進めながら、これからも便りを発行して参ります。
（広報委員会） 武井 中村 小宮 小野田 原山 照井
（事務局） 鎌倉市青少年課 石川
0467-61-3886

令和7年度 おもちゃ箱委員会活動報告

【メンバー】

部 正子（委員長・鎌倉） 久保 展子（副委員長・深沢） 石見 洋子（書記・鎌倉）
仙場 佳恵（会計・大船） 劔 悠子（腰越） 藤澤 冬子（玉縄） 宮本 泰三（深沢）

【活動目的】

新聞配布によって、小学校とのつながりを持ち、子どもたちとのふれあいを大切にする。

【活動方針】

できるだけ委員自身が直接題材に接し、自然、文化、人との関わりについて、子どもたちにわかりやすく伝え、興味を持って自ら考えてもらうきっかけをつくる。

【活動内容】

- ・年2回、小学生新聞『おもちゃ箱』を発行
- ・鎌倉市内の公立小学校などに配布（発行部数 夏、冬各 8,500 部）
- ・仕分け作業、終了後各地区の委員に地区の学校に配布を依頼

☆「おもちゃ箱 第56号」 7月発行（2025年7月9日 配布）

テーマ 自転車の乗り方

【表】自転車に乗るときのルールをクイズで出題

【裏】いろいろなマーク キャンプのお知らせ 地区行事のお知らせ

☆「おもちゃ箱 第57号」 12月発行（2025年12月5日 配布）

テーマ 旬の食材について

【表】冬が旬の野菜、くだもの はちみつ大根の作り方

【裏】スノードームの作り方 各地区行事のお知らせ

☆ 委員会回数 8回（5月～3月） 仕分け活動2回（7・12月）含む

☆ LINEでの確認作業多数回

【まとめ】

今年度も楽しい委員会でした。楽しい中でも意見交換はしっかりとできていたと思います。子どもたちはどんなことに興味を持ってくれるのか、新聞をしっかりと読んでくれるのかと考えながら・・・

読んでくれると嬉しいなと思いながら委員会のメンバーで力をいれて作り上げました。

鎌倉市青少年指導員連絡協議会 【問い合わせ先】 鎌倉市こどもみらい部青少年課 ☎0467-61-3886

自転車は「車」の仲間だって知ってた？

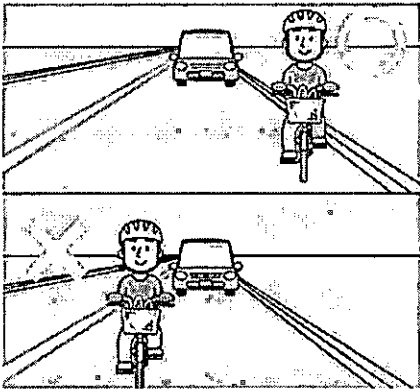
自転車に乗れば、いろんなところへ出かけられるけど危険もいっぱい。

どんなことに気をつければいいか、確認してみよう！

イラスト：内閣府「交通安全イラスト集」を使用

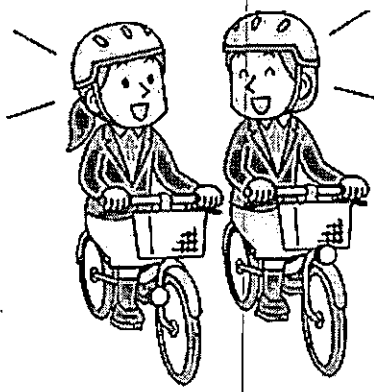
問題1

どうも ひだり
自転車は道路の左がわを
はし
走らなきゃダメ？



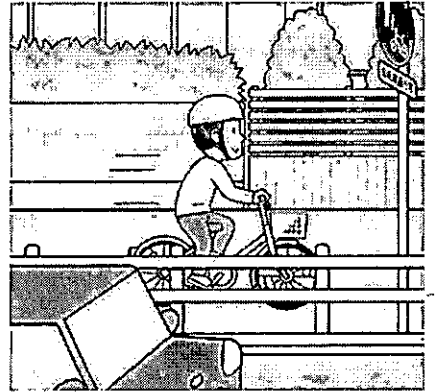
問題2

なら
自転車は並んで走ってもいい？



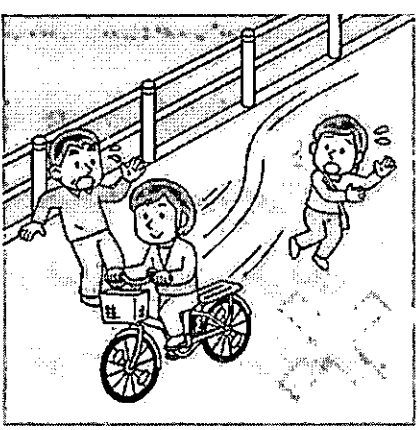
問題3

ほどう
自転車は歩道を走ってもいい？



問題4

ある
歩いている人をよけて走ったらダメ？



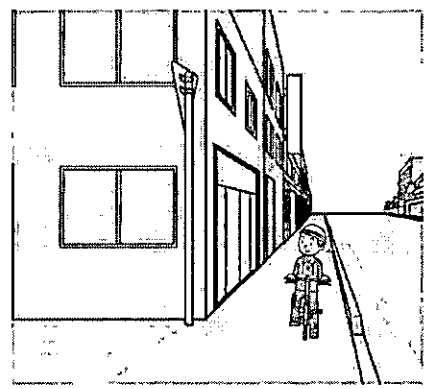
問題5

あめ
雨の日は傘をさして乗ってもいい？



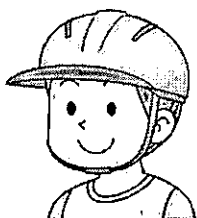
問題6

と
まがりかどではいったん止まって
さゆう かくにん
左右を確認しなければいけない？



問題7

自転車に乗るときは
ヘルメットをかぶったほうがいい？

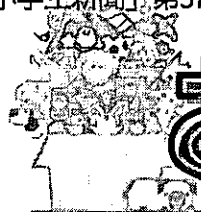


問題8

このマークがある場所は
自転車も止まらなければいけない？



うらめん
裏面で
こたえあわせを
しよう→



おもちゃ箱

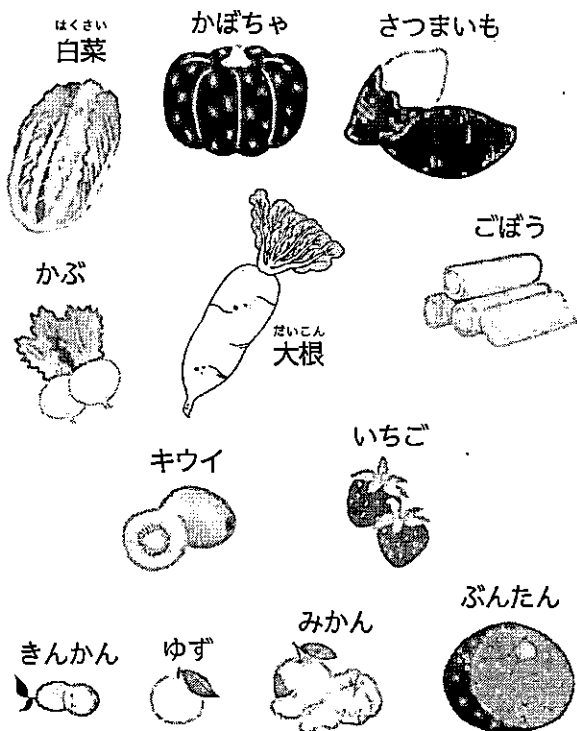
部 正子
久保 展子・石見 洋子・仙場佳恵
剣 悠子・藤澤 冬子・宮本泰三
発行責任者 下山浩子

鎌倉市青少年指導員連絡協議会 【問い合わせ先】鎌倉市こどもみらい部青少年課 ☎0467-61-3886

寒くなるとおいしくなる野菜&くだもの

冬の野菜は、寒さから体をまもるために甘さをたくわえているから、とってもおいしいんだ。
栄養もたくさんで、みんなが風邪をひかないように、元気な体をつくる手伝いをしてくれるんだ。

冬が旬の野菜・くだもの



寒い冬をこすために、冬の野菜やくだものは「甘み」や「栄養」をギュッとたくわえているんだ。だから、甘くておいしく、栄養も満点！

にんじんや かぼちゃ、ほうれん草に多い「ベータカロテン」は、目や鼻、のどを丈夫にして、病気にかかりにくくしてくれるよ。油といっしょに料理するのがおすすめ。

みかんやいちごなどに多い「ビタミンC」は、かぜのウイルスから体を守ってくれるヒーローのような栄養素。おやつに食べるのもいいよね！

ごぼうや大根、りんごなどには、おなかのそうじをしてくれる「食物せんい」もいっぱい。

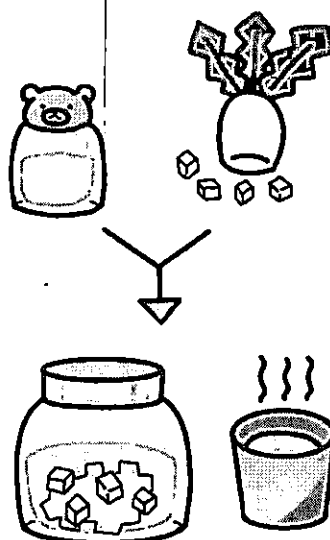
おいしい冬野菜・くだものを食べて元気に冬をすごそう！

はちみつ大根のつくりかた

「はちみつ大根」は、昔からのどに良いと言われるシロップ。作り方はとてもかんたん！

- ① 大根を1cm角くらいのサイコロの形に切る。
- ② きれいでフタができる入れ物（ビンなど）に大根を入れ、その上からはちみつを、大根がかくれるくらいまで注ぐ。
- ③ フタをして数時間おくと、大根から水分が出てきて、おいしいシロップの完成！

（※1才より小さい赤ちゃんにはあげないでね）



はちみつ大根

のどの痛みに



令和7年度「子どもたこあげ実行委員会」活動報告

【メンバー】

委員長：三谷（大船） 副委員長：秋元（深沢） 会計：川村（鎌倉） 書記：宮下（玉縄）
委員：石塚（腰越） 委員：井筒（大船）
執行部：平野（玉縄） 事務局：渡邊（青少年課）

【活動報告】

本年度は委員体制2年目となり、昨年度の反省点を踏まえながら、より安全で円滑な大会運営を目指して準備を進めました。

実行委員会は計9回開催し、役割分担の明確化、受付動線の改善、風速基準の再確認などを行いました。

大会当日は天候にも恵まれ、風も安定したコンディションとなり、多くの子どもたちが大空に凧を揚げることができました。事故や大きなトラブルもなく、盛況のうちに終えることができました。

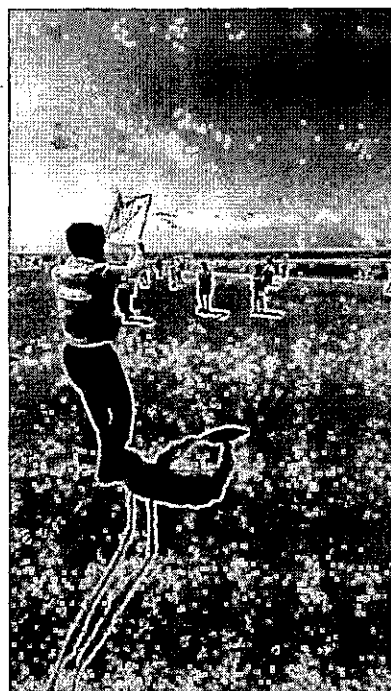
地域の皆様、市役所関係者、青少年指導員の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

【大会報告】

日時：令和7年5月5日（月）10:10開会

開催場所：鎌倉市材木座海岸（滑川河口寄り）

参加者：青少年指導員33名 市役所2名 一般139名 松尾市長 合計175名



令和7年度「ギャラリー50実行委員会」活動報告

【メンバー】

委員長 秋元正実（深沢） 副委員長 三谷尚弘（大船） 書記 石井誠一（玉縄）
会計 志賀志津代（腰越） 本部役員 小島信行（深沢）
委員 岡田英子（鎌倉） 委員 井筒智之（大船）

【活動目的】

鎌倉市青少年指導員連絡協議会の各委員会、各地区の活動を広く市民に紹介する。

【活動内容】

紹介方法：活動内容をパネルにして鎌倉駅地下道「ギャラリー50」に展示

展示期間：令和8年3月24日（火）～30日（月）

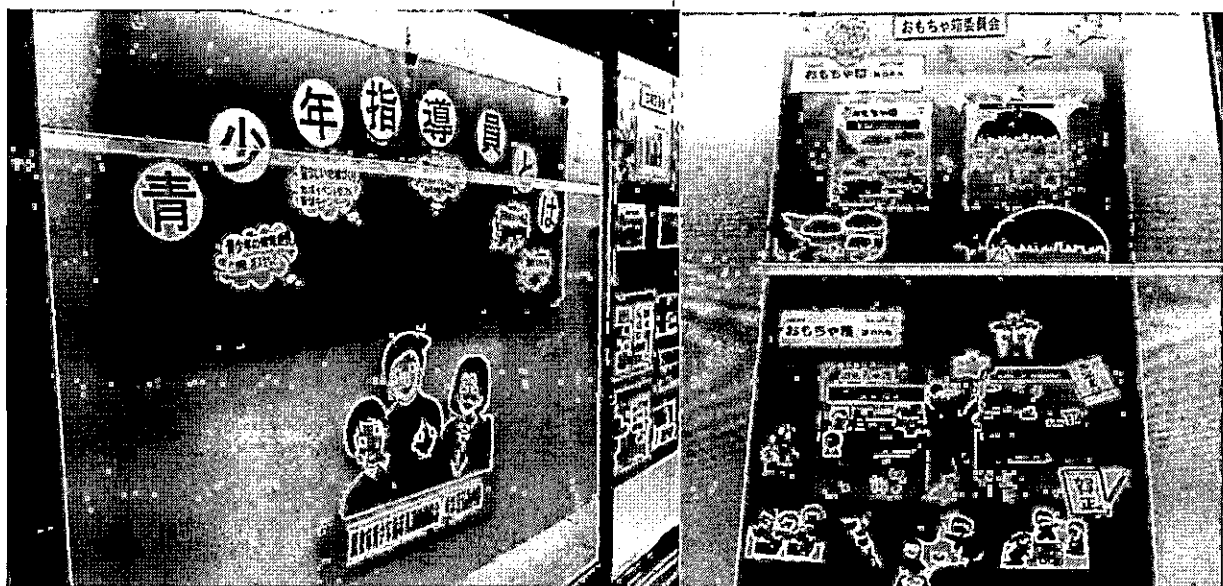
【実行委員会日程】

令和7年12月から3回の実行委員会を実施し、展示準備を令和8年3月24日、展示撤収を令和8年3月30日に行いました。

【まとめ】

今年度も、各委員会・各地区の活動内容をパネルにして展示し、市民の皆様に青少年指導員の活動を広く周知することが出来たと思われます。

パネルを作成して頂いた各委員会、各地区の委員の方々に御礼申し上げます。



令和7年度「子どもキャンプ」活動報告

【メンバー】

実行委員長	坂元（腰越）
実行副委員長	白井（玉縄）
実行委員書記	山田（鎌倉）
実行委委員会計	垣生（腰越）
実行委員	粕田（大船） 森田（大船） 田中（大船） 笠（玉縄） 去渡（腰越） 花田（深沢） 末永（鎌倉） 二階堂（鎌倉）
広報	小野田（大船）
役員	下山（会長） 石川（副会長）
事務局	石川（青少年課） 他1名



【実施計画概要】

- 日程：令和7年10月18日（土）～ 翌19日（日）
- 場所：県立愛川ふれあいの村（愛川町）
- 参加対象：鎌倉市在住・在学の小学校4年生～6年生
- 参加者：小学生60名 青少年指導員24名

ジュニア16名 事務局（青少年課）2名 （総員102名）

■ 企画・準備・実施状況

・キャンプ実行委員会 5/6 6/17 7/15 8/12 8/23 10/7

（開催時間は19:00～21:00の1～2時間）

<調整会議について>

日時：6/21（水）10:00～ 場所：愛川ふれあいの村 参加者：坂元

<事前親子説明会について>

日時：9/21 9:00～12:00 場所：玉縄青少年会館

令和7年度 研修会等活動報告

本 部 活 動

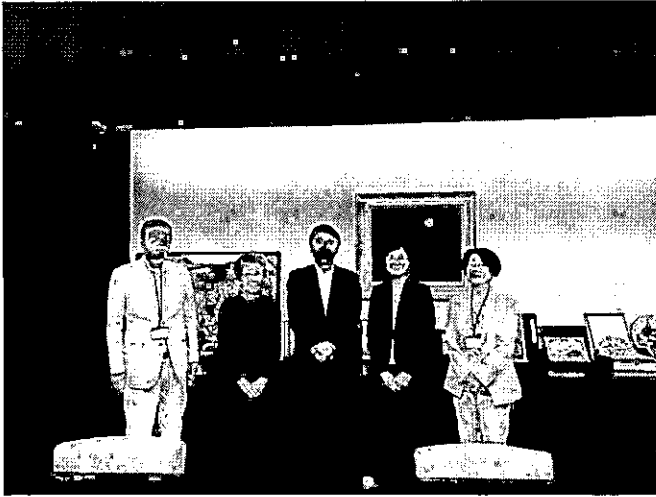
救急救命講習

野外炊事研修

鎌倉市教育長講演会

放 課 後 か ま く ら っ 子

鎌倉市青少年指導員連絡協議会 四役



【四役メンバー】

会長 : 下山浩子 (腰越地区)
副会長 : 小島信行 (深沢地区)
副会長 : 石川敦子 (大船地区)
会計 : 山田育子 (腰越地区)
書記 : 平野守久 (玉縄地区)
書記 : 稲田富之 (鎌倉地区)

令和7年度 救急救命講習 活動報告

【実施日】 令和7年 5月24日 (土)

【実施場所】 鎌倉消防署

【参加者】 8名

鎌倉地区 : 末永、部

大船地区 : 石川・井筒

玉縄地区 : 小宮

腰越地区 : 下山、山田、志賀

【実施内容】

事前に消防庁の応急手当 web 講習を受講の上、2時間の普通救命講座を受けました。

人形を使った一次救命処置訓練や気道に異物が入った場合の対応と止血の方法について説明を受けました。

「一次救命」

- ① 安全の確認 ② 反応があるか？ ③ 大声で応援を呼ぶ ④ 呼吸をみる
- ⑤ 心肺蘇生法 ⑥ AED 装着 ⑦ 心電図の解析 ⑧ 電気ショック
- ⑨ 電気ショック不要の場合は、⑤からを繰り返す
- ⑩ 救急隊開始に引継ぐまで⑤⑥を繰り返します。



鎌倉市教育長 高橋洋平氏 講演会

鎌倉が目指す「学習者中心の学び」

2025.8.2(土) 16:00~17:30

NPO センター

・教室の中の多様性

今の小中学校の1クラスには様々な子どもたちがいる

例：外国籍 1.0 人 不登校 0.4 人など

・鎌倉市の子どもたちの状況

全国学力検査の結果では、学力は高い方。学校に通うのが楽しいと答えた率が少し高い。自己肯定感が高い。いじめ認知数は増加（全国的にいじめの定義が以前とは変わり、広く認知していこうという動きのためという理由もあり）。不登校はコロナ禍以降増加（これは世界的な傾向）。

・学校教育、人口推移、これからの見通し

学校教員のなり手不足問題の解決、教員のもつ教育観や授業のアップデートが求められる。鎌倉市では人口のピークが2004年、以降減少が続く。2100年には現在の30%ほどになるとの予測で Artificial General Intelligence(AGI)の発達は進み、あと3~10年で人間並みになる。子どもたちが変化の激しい不透明な時代の中でも生涯にわたり心豊かに生きられるようになるには、炭火のごとく誰もが学びの火を灯し続けていくことが必要。すぐには答えの出ない問いをどのようにとらえ、最適な解をみつけていくか。その姿勢が「学習者中心の学び」につながっていく。（♪「正解」RADWIMPSの紹介）

・鎌倉の学校施策など

市独自の教員採用の実施、体育館冷房化、トイレ改修、学校全体の改築（第一小、山崎小から）を進行中、中学校の部活動サポーター「カマクラブカツ」のシステム進行中。小中学校では個々の生徒に iPad 第11世代を与え、学校で活用している。鎌倉 ULTLA プログラムで不登校生徒を支援。

・由比ガ浜中学校の様子

校歌や学校行事、学年毎の固定されたクラスはなく、登校時間、カリキュラムや授業形態に自由度の高い学校が今年度から始動し、1学期が終了したところで、出席率は85%、（教室でクラスメートと話ができる喜びを語る生徒の姿あり。）教室内の環境にも配慮され、リビングルームのようなソファやテーブル、卓上ライトや観葉植物などが配置されている。ここだけではなく、市内の他の学校でも IKEA の協力もあり、フリースペースを無機質な教室イメージから変えている。

放課後かまくらっ子 活動報告

地区	日程	場所	内容	参加者
鎌倉	4月30日(水)	御成	ディスクゴルフ	岩田、石見、稲田、風間、末長、中村、岡田、大窪
腰越	5月21日(水)	腰越	バルーンアート	下山、武井、石塚、風間、中村
大船	6月4日(水)	大船	ディスクゴルフ	神田、中原、石川、三浦、仙場、小野田、藤澤、岡田、中村
玉縄	7月24日(木)	関谷	バルーンアート	藤澤、小宮、白井、石塚、石川、二階堂、三浦、武井、下山
玉縄	8月7日(木)	玉縄	バルーンアート	平野、小宮、藤澤、宮下、笠、山田育、三浦
大船	8月19日(火)	大船	水風戦	仙場、大塚、小野田、粕田、石川、飯嶋、三浦、下山、坂元、小宮、藤澤、神田
大船	8月26日(火)	小坂	水風戦	仙場、三谷、石川、粕田、三浦、神田、山田育、石塚
大船	9月22日(月)	今泉	バルーンアート	石川、粕田、神田、井筒、三浦、石塚
大船	11月17日(月)	富士塚	ディスクゴルフ	井筒、粕田、神田、石川、小野田、三浦、原山、久保、宮本
深沢	1月7日(水)	深沢	的当て、輪投げ等	原山、小島、宮本、秋元
大船	1月19日(月)	今泉	ディスクゴルフ	小野田、神田、三浦、大塚
鎌倉	1月21日(水)	御成	ディスクゴルフ	中村、二階堂、風間、岩田、岡田
玉縄	1月26日(月)	玉縄	ディスクゴルフ	平野、宮下、石塚、三浦、小野田、井筒
腰越	1月27日(火)	富士塚	バルーンアート	下山、山田、石塚、久保、原山、白井、藤澤
玉縄	2月25日(水)	関谷	ディスクゴルフ	白井、藤澤、三浦、粕田
大船	3月11日(水)	玉縄	ディスクゴルフ	平野、三浦、神田、粕田
腰越	3月13日(金)	七里ヶ浜	ディスクゴルフ	山田、松本、去渡、石塚、下山
大船	3月31日(火)	小坂	遠足	神田、粕田、小野田、三浦

※3月31日(火)は雨天のため、中止